

## CONTENTS

2013.10

# NO.205

### 特集 公共建築物の老朽化対策 前編

特集にあたって	3
公共建築と長寿命化	深尾 精一 4
建築再生の進め方 一箱の産業から場の産業へ	松村 秀一 8
長寿命建築の建築計画学的視点	宗本 順三 12
長寿命建築における環境・設備技術のあり方	川瀬 貴晴 17
建築物の長寿命化と建築仕上げの役割	本橋 健司 22
材料の劣化と建築物の長期耐久性予測	兼松 学 26
建築物の長寿命化を実現するための方法	鹿毛 忠継 32
既存ストックの活用	濱崎 仁 38
学校施設の老朽化対策について ～学校施設における長寿命化の推進～	木村 哲治 42
国立近現代建築資料館 一湯島地方合同庁舎のリニューアル	外崎 康弘 46
浦河税務署庁舎 一大規模リニューアルによる既存施設の有効活用	山本 英史 50
名古屋大学豊田講堂再生 極薄コンクリート打増工法によるモダニズム建築の保存・再生・継承	福永 知義・長谷 理 52
新宿センタービル 超高層ビルの改修 100年建築を目指して	熊谷 智夫・三宅 英司・根本 彩子 56
横浜市庁舎 村野建築のリニューアル	指田 定男・藤田 健二 60
● TOPIC	
外壁を自走しながら検査を行う外壁診断装置(プロトタイプ)の開発	眞方山美穂 64
サステナブル・オフィス	見城 辰哉 66
建物劣化調査・診断業務と建物整備計画の策定手法について	道村 和正 70
機構型スケルトン・インフィル住宅の取組みについて	独立行政法人都市再生機構技術調査室ストック技術チーム 73
長寿命化にかかせない設備診断	安孫子義彦 75
● ESSAY	
オスロの中央官庁施設	佐藤 敬一 77
被災地の現状を見よⅢ 一みやぎボイス	松本純一郎 79
群馬県 夏の風物詩	都丸 恵理 80
熊本市 深緑の海	森崎 忠教 81
編集後記	82



## 表紙

### 名古屋大学豊田講堂

1960年に竣工したモダニズム建築の代表作である講堂を、市民交流の拠点として再生する方針の下、建設当時と同じ建築主、設計者、施工者によるチームワークにより、再生を図ったものである。特に杉板本実型枠コンクリート打放しの復元は、「コンクリート打放し」を意匠的特徴とするモダニズム建築の新たな再生手法として評価される。本建築物は、第13回公共建築賞・特別賞を受賞している。関連記事 52 頁。

事業者 国立大学法人 名古屋大学  
設計者 榎楨総合計画事務所  
施工者 榎竹中工務店名古屋支店

撮影 — 北嶋 俊治